

▼ マニフェスト「偽装」疑惑! ?

海老根市長が選挙で掲げたマニフェストやマスコミ等へのアンケートに回答した内容から政治姿勢を質した3月予算議会。その答弁等から様々な矛盾や問題が明らかになってきました。(市会議員・原田トモコ)

▼「谷戸の保全」なのに▼「県道横浜藤沢線の促進」! ?

原田 マニフェストにうたわれている川名の谷戸はみどり基金を投入し緑地保存を積極的にしていくという「お約束」と、その緑地内に計画されている横浜藤沢線の早期実現を県に働き掛けていくという「お約束」は整合性があると言えるのか? 道路は地下化するとか、足つきのものにするとはいずれにしても谷戸の生態系を乱すのを避けては通れないという事が、先の総務常任委員会の副市長の説明により明らかなが?

副市長(総務委員会での答弁)現状では議員指摘の通り、緑地と都市計画道路を平面で一致することには環境保全という面から市民に理解を頂けない。地下化をせざるを得ない状況とかあるが、地形的、出口とか、いま県で比較検討している結果が出たらまた説明したい。計画の見直しは考えていない。



県道
横浜藤沢線
計画予定地

▼「市町村合併」▼「ごみ有料化早期見直し」で二枚舌! ?

原田 合併について市長は選挙中に2つのアンケートに答え、タウン紙では「賛成反対どちらでもない」とし、一方の新聞には「避けて通れない」と。またマニフェストには「合併」に触れる表記は見当たらないが、市議の頃は合併によって政令都市とする事を持論とされてきたと聞いている。改めて、合併についてどうお考えなのか?

市長 どちらのアンケートにも市民の皆さんと将来の藤沢市が目指す方向を議論し合う事が重要であるという趣旨で答えており異なるものではない。

原田 ごみ処理の有料化についてもいくつかのアンケートに答えて「早急に見直しを進めます」と。マニフェストにも「負担軽減の新たな方向性を早期に明らかにします」とあります。であるならば、具体的にどうされるおつもりなのか?

市長 導入後3か年の数値を検証し、かつ広く市民のご意見を取り入れながら見直しを実施して参りたい。

原田 「3年後の見直し」はこの間議会ですんざん言われてきた事。「早急に」というのは3年より前に見直すのだと有権者に印象付ける言葉なのではないか? 有権者が騙されたと感じても仕方がないという事か?

▼「格差是正」とタウン紙で言いながら・・・

寝たきり、認知症の在宅高齢者への紙おむつ支給拡大の中身

原田 要介護4、5の60歳以上(現行65歳)の方に対象を拡大する事で増加が見込まれる人数50人、経費は200万円という答えだが、(これだけでことさらに「福祉の充実」とは)不満を感じる。

一昨年の「税制改革」により、所得は変わらないのに市民税が増税となったことで、いままです課税であった方が一部が課税対象者となり、行政サービスの対象から外れてしまう事態が起こった。紙おむつ支給についても、支給対象から外れる方々が出ている。こういった層へのサービス再開は格差の是正にもつながると思うが? <市は実態の把握さえ曖昧で答弁もちぐはぐであった。>

「まちづくり債」購入出来る人に税金で利子3000万円

原田 国債より高い利率を設定し利回りで人気を集めるのではなく、低い利率でもまちづくりに共感参加しようという市民を募るべき。また応募総数が発行額を超えるようなら一人当たりの購入限度額を下げて、全員に参加していただくよう改善すべき。

今回5年間で市が負担する利息は三千万円になるが、税金でこのようなことをやるのは更に格差の拡大にならないか? (三百万円用意できる層は限られるはず。)

「住民参加型市場公募地方債」
今回「湘南C-X」が対象事業。
発行総額5億円に1310件・
総額23億円超の募集。十万人
一口。購入限度額300万円を
希望する応募者(当選者も!)
が全体の4割近くを占めた。

市 三百万円はあくまで限度額で、
当選しなければ購入できないし必ず
しも高齢者優遇ではない。利率、限
度額等については検討していく。

「後期高齢者医療制度」に警鐘!

75歳以上の高齢者が、国民健康保険や健康保険組合などの被用者保険から脱会し、「後期高齢者」だけの医療保険に加入する制度がスタートしようとしている。

支給されるべき年金を受け取れない「年金問題」の解決には全く至っていないのに、わずかな年金からでも天引きしていく新たな制度の開始に高齢者の理解が得られるはずありません。

しかも、神奈川県内すべての市町村が加入する「神奈川後期高齢者医療広域連合」が運営主体となるため、きめ細やかな施策が図れなくなり、保険料を一年以上滞納すると機械的に保険証を返還させられ「被保険者資格証明書」で金額を立て替えて医療にかからなければならなくなるのです。

また、国民健康保険では扶養者がいて直接保険料を納めていなかった人も、75歳になると後期高齢者医療制度の被保険者となります。

様々な問題を指摘されながら見切り発車しようとしている当制度に対し、国会では民主党、共産党、社民党、国民新党の4党が制度を廃止する法案を衆議院に提出していますし、国会でもっと議論していただきたいので、このままの制度の予算に対しては反対という趣旨で討論を行いました。

後期高齢者医療事業費特別会計予算

【反対】市政市民派、共産<他の会派は賛成>



原田トモコ所属会派

「市政市民派」から「アクティブ藤沢」へ 市長選挙後、「分裂」も噂された最大会派「進政会」第二会派「さつき会」ともに音沙汰なし。選挙で争った候補を推した市議どうしが共存したまま新年度を迎えた。与党としてのうま味に徒党を組むのか、チェック機能としての役割を市議会が果たせるのか、それをチェックするのは市民の皆さんです。私は、新人議員としての1年目を終え、一人会派を結成し、より自身の姿勢を明確にしていきたいと思います。どうぞ共感されたらお力をお貸し下さい。